



かぜ 合志の旋風 ～自律貢献～

令和7年9月12日（金）No 18 発行
文責：松本 卓也

自主性 主体性 違い ～子どもたちを、「学びの主体」として育てるために～

8日（月）から10日（水）までの3日間、前期期末テストを行いました。授業以外にも、学習委員会が作成したテスト予想問題や合志タイムでの帰宅後プラン作成等で学びの定着を図ってきました。テストの合間の休み時間にも、友人と問題を出し合ったり、疑問点を尋ねたりと、意欲的に取り組む姿が見られました。「自主性 主体性 違い」・・・この言葉は、昨年8月に開催された全九州中学校長研究大会で講演された神野元基さん（宮崎市教育 CIO、学校法人東明館中・高等学校 理事長兼校長）の言葉です。



自主性・・・法律の遵守や人権の尊重等、既に決められていることを率先して行うこと
主体性・・・やる・やらないも含めて、自分自身で考えて物事に取り組むこと

2016年に閣議決定された「第5期科学技術基本計画」の中で、日本が目指すべき未来社会として「Society5.0」が提唱されました。原始時代・縄文時代の人間社会を Society1.0（狩猟社会）、弥生から江戸時代の人間社会を Society2.0（農耕社会）、明治から昭和時代の人間社会を Society3.0（工業社会）、平成から現代の人間社会を Society4.0（情報社会）と定義しています。Society3.0（工業社会）では、高品質で均一の商品を大量に作り出す必要があったため、教育で重視されたのは、「知識を正確に記憶する基礎学力、忍耐強さ、あらかじめ定められた計画を着実にこなす正確さ」でした。つまり、決められたことを率先して行う「自主性」が重要とされていました。（学校の校訓にも、「自主」が掲げられている学校があります）現在の Society4.0（情報社会）の教育で重視されているのは、「自分自身の文脈で情報を編集し、協働・対話を通じて新しい価値や『納得解』を生み出す力」、2030年に到来するとされる Society5.0（超スマート社会）で重視されていくのは、「1人1人分析・批判的に思考するための見方・考え方、他者・社会との協働、未知の世界に挑戦する好奇心、苦心してモノを作り上げる力」です。「これからは、自分自身で考えて物事に取り組む『主体性』を育てることが大事です」と、神野さんは力説されました。学習委員長のNさんにテストの感想を聞いたところ、「勉強したところはできました。」「家庭学習の取組（計画→実践）は上手くいってます。苦手なところを中心に実践しています。」「テスト予想問題を通して、わかったところが増えることが楽しくなることをみんなに知ってほしいです。」と答えてくれました。テスト勉強であれば、「今日は4時間勉強する」「国語と英語は90分、音楽は60分勉強する」「最初に重要語句を見直し、ワークの問題を解く」といった具体的な計画を自分で立てて取り組むことが「主体性」です。テストの結果だけでなく、取組の反省をもとに自ら取り組む家庭学習にしていきたいと思います。



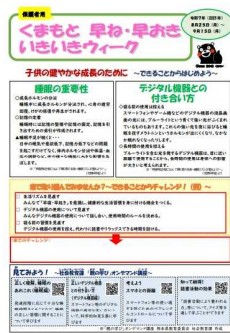
ご協力、ありがとうございました。

1日（月）から3日（水）まで、「私たち一人一人ができること」として、各ご家庭に義援金1人がご協力を呼びかけました。お寄せいただいた義援金は20,008円となり、3日（水）に令和7年8月豪雨義援金（熊本県）口座に振り込ませました。多くのご家庭から温かいお気持ちや元気を伝え、被災者の方々に、勇気や希望を届けることができました。この機会に、ご協力いただいたご家族やご友人、ご近所の方々に、改めて感謝申し上げます。また、この機会に、ご協力いただいたご家族やご友人、ご近所の方々に、改めて感謝申し上げます。



くまもと 早ね早おき いきいきウイーク

熊本県教育委員会では、子どもの心とからだの健康づくりについて考え、たくましく心豊かな熊本の子どもを育てるため、ききくまもと「くまもと 早ね早おき いきいきウイーク」を設定します。基本的な生活習慣を身に付け、心身の健康な取組を実施して、「いきいきウイーク」の取組を推進します。この期間中は、睡眠不足を解消し、朝起きる習慣を身につけ、健康的な生活を送ることを目指します。この期間中は、睡眠不足を解消し、朝起きる習慣を身につけ、健康的な生活を送ることを目指します。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）